


## 1. 総論

【総括判断】「新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に厳しい状況が残るものの、緩やかに回復しつつある」









項目	前回（3年4月判断）	今回（3年7月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に厳しい状況があるものの、持ち直している	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に厳しい状況が残るものの、緩やかに回復しつつある	

（注）令和3年7月判断は、前回4月判断以降、足下（7月末）の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は感染症の影響により、サービス消費に弱さがあるものの、コンビニエンスストア販売や百貨店販売では緩やかに持ち直している。生産活動は一部に弱い動きがあるものの、自動車関連産業を中心に回復している。こうしたなか、雇用情勢は弱い動きが続いている。

【各項目の判断】

項目	前回（3年4月判断）	今回（3年7月判断）	前回比較
個人消費	感染症の影響により、持ち直しの動きに一服感がみられる	感染症の影響により、一部に弱さがあるものの、緩やかな持ち直しの動きがみられる	
生産活動	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに回復している	一部に弱い動きがみられるものの、回復している	
雇用情勢	一部に底堅さがみられるものの、感染症の影響により弱い動きが続いている	一部に底堅さがみられるものの、感染症の影響により弱い動きが続いている	
設備投資	2年度は増加見込み	3年度は増加見込み	
企業収益	2年度は減益見込み	3年度は増益見込み	
住宅建設	弱い動きとなっている	下げ止まりの動きがみられる	
公共事業	前年を下回っている	前年並みとなっている	
輸出	増加している	増加している	

【先行き】

先行きについては、感染拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、感染の動向が内外経済に与える影響に十分注意する必要がある。

## 2. 各論

■ **個人消費** 「感染症の影響により、一部に弱さがあるものの、緩やかな持ち直しの動きがみられる」

スーパー販売は、内食需要により、主力の食料品を中心に堅調となっている。コンビニエンスストア販売は、オフィス街における入店客数が回復しつつあることから、緩やかに持ち直している。ドラッグストア販売は、衛生用品などが引き続き堅調であるほか、新規出店効果もあって、増加している。百貨店販売は、入店客数が回復しつつあることから緩やかに持ち直している。家電大型専門店販売は、テレビなどを中心に堅調となっている。ホームセンター販売は、園芸用品が堅調である中、DIY用品が落ち着き始めてきているものの、アウトドア関連が好調であることから、全体として堅調となっている。乗用車販売は、新型車効果等により持ち直している。旅行取扱高は、国内の一部に動きがみられるものの、依然として厳しい状況が続いている。

(主なヒアリング結果)

- 6月まではオフィス街や観光地で特に厳しい状況が続いていたものの、緊急事態宣言が明けた週から都心部における夜の売上が伸びている。(コンビニ、大企業)
- 緊急事態宣言の解除やワクチン接種が進んでいることもあり、入店客数が回復している。(百貨店、大企業)
- 新型車効果等により、受注ベースでは好調を維持しているが、車やカーナビなどの付属品に半導体不足の影響が徐々に出ており、今後販売ベースでは厳しい状況となる見込み。(乗用車、中堅企業)
- ゴールデンウィークの観光客数は昨年度よりは増加したものの、例年比では大幅に減少している。東京で4度目の緊急事態宣言が発令されるなど、都市部からの観光客の回復が見込めず厳しい状況が続くとみている。(自治体)
- まん延防止等重点措置が解除されたものの、県による時短要請が続いており、来店客数、客単価ともに低調なままである。(飲食サービス、中堅企業)

■ **生産活動** 「一部に弱い動きがみられるものの、回復している」

自動車関連は、一部に弱い動きがみられるものの、国内外の需要回復を受け増加している。オートバイは、輸出向けを中心に緩やかに回復しつつある。航空機体部品は、海外航空機メーカーが大幅に減産したことから、悪化している。金属工作機械は、海外受注を中心に増加していることから、生産は着実に持ち直している。半導体集積回路は、増加している。液晶は、弱い動きとなっている。プラグは、増加の動きに一服感がみられる。開閉機器、電動機ともに、緩やかに回復している。普通鋼、特殊鋼ともに、増加している。

- 半導体不足の影響が懸念されるものの、完成車メーカーからの受注が高水準で推移しているため稼働率が高くなっている。(輸送機械、大企業)
- 半導体不足の影響により、主力の自動車向けの需要がやや落ち込んでいることから、昨年末の高い生産水準と比べ生産水準はやや落ち着いた状態が続いている。(電気機械、大企業)
- 半導体製造装置向けを中心に国内外の受注は着実に増加しつつある。特に、海外受注では、中国向けが過去最高の受注であったほか、北米や欧州の受注も戻っていることから、今後の生産は高水準となる見込み。(生産用機械、大企業)
- スマートフォン向けのほか、パソコン向けもリモート需要等により受注が増加していることから、生産はフル稼働となっている。(電子部品・デバイス、大企業)
- 自動車向けの受注が好調であり、生産はフル稼働となっている。今後も生産はフル稼働が続くと見込んでいる。(鉄鋼、大企業)

■ **雇用情勢** 「一部に底堅さがみられるものの、感染症の影響により弱い動きが続いている」

輸送用機械などで引き続き求人が緩やかに増加していることから、有効求人倍率は緩やかに上昇しているものの、全体では弱い動きが続いている。なお、完全失業率は低水準である。

- これまでは残業時間の増加によって対応していたものの、今後は挽回生産により生産レベルが上昇していくことが見込まれることから、期間工の募集を行っている。(輸送用機械、大企業)
- 輸送用機械向けの工作機械を扱う企業のほか、半導体製造装置向けの部品を扱う企業からの求人がでてきている。(労働局)
- 航空機需要の低迷が続いていることから、自動車産業などに出向を行っている。(その他輸送用機械、大企業)
- 飲食サービス業では、感染拡大があると規制が強くなることから企業側が慎重になっており、求人がなかなか戻ってこない。(労働局)
- 5月に緊急事態宣言が発令されて以降、すべての店舗で臨時休業したため、雇用調整助成金を活用しながら従業員を休業させた。(旅行、中堅企業)

■ **設備投資** 「3年度は増加見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」3年4-6月期

- 製造業では、情報通信機器などが減少となるものの、電気機械や輸送用機械などが増加となることから、増加見込みとなっている。
- 非製造業では、金融・保険や建設が減少となるものの、運輸などが増加となることから、増加見込みとなっている。

➤ CASE関連の投資を引き続き行っていくことに加え、昨年度感染症の影響で減収減益となったことから見送っていた投資を実施する。(輸送用機械、大企業)

■ **企業収益** 「3年度は増益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」3年4-6月期

- 製造業では、木材・木製品などが減益となるものの、輸送用機械や鉄鋼などが増益となることから、増益見込みとなっている。
- 非製造業では、建設などが減益となるものの、運輸が黒字となることや卸・小売などが増益となることから、増益見込みとなっている。

■ **企業の景況感** 「『下降』超となっている」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」3年4-6月期

- 景況判断BSIでみると、全産業の現状判断は、輸送用機械の「下降」超幅が拡大したものの、卸・小売やサービスの「下降」超幅が縮小したことなどから、「下降」超幅が縮小している。また、先行きは「上昇」超に転じる見通しとなっている。

■ **住宅建設** 「下げ止まりの動きがみられる」

- 分譲住宅が引き続き減少しているものの、貸家、持家が前年を上回っていることなどから、下げ止まりの動きがみられる。

■ **公共事業** 「前年並みとなっている」

- 前払金保証請負金額でみると、県は増加しているものの、市町村、独立行政法人等が減少していることなどから、前年並みとなっている。

■ **輸出** 「増加している」

- 輸出(円ベース)は、自動車関連を中心に増加している。なお、輸入(円ベース)は、前年を上回っている。

■ **企業倒産** 「件数は前年を下回っている」

### 3. 各県の総括判断

	前回(3年4月判断)	今回(3年7月判断)	前回比較	総括判断の要点
愛知県	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に厳しい状況があるものの、持ち直している	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に厳しい状況が残るものの、緩やかに回復しつつある		個人消費は感染症の影響により、サービス消費に弱さがあるものの、コンビニエンスストア販売や百貨店販売では緩やかに持ち直している。生産活動は一部に弱い動きがあるものの、自動車関連産業を中心に回復している。こうしたなか、雇用情勢は弱い動きが続いている。
静岡県	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に厳しい状況があるものの、持ち直している	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に厳しい状況があるものの、持ち直している		個人消費は、感染症の影響により、観光地への入込及び宿泊客数が弱含んでおり、持ち直しのテンポが緩やかになっている。生産活動は、半導体不足の影響により、自動車関連において減産の動きが続いているものの、電気機械などを中心に着実に持ち直している。こうしたなか、雇用情勢は、弱い動きが続いている。
岐阜県	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に厳しい状況があるものの、持ち直している	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に厳しい状況があるものの、持ち直している		個人消費は感染症の影響により、一部に厳しい状況があるものの、緩やかな持ち直しの動きがみられる。生産活動は緩やかに回復しつつある。こうしたなか、雇用情勢は一部に底堅さがみられるものの、感染症の影響により弱い動きが続いている。
三重県	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に厳しい状況があるものの、持ち直しの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に厳しい状況があるものの、持ち直している		個人消費は、感染症の影響により、持ち直しのテンポが緩やかになっており、生産活動は、一部に弱い動きがみられるものの、全体では持ち直している。こうしたなか、雇用情勢は、一部に底堅さがみられるものの、感染症の影響により弱い動きが続いている。